

国際医療交流を「実施する予定である」と回答した 7 施設の国際医療交流開始年度は、2011 年度 3 施設、2012 年度 2 施設、2015 年度 1 施設、無回答 1 施設だった。

以下、Q3 で国際医療交流を「実施している」または「実施する予定である」と回答した 11 施設 (10.4%) を「国際医療交流実施予定施設」と言う。

④以下は、「国際交流実施予定施設」を対象として解析した。

④ 国際医療交流を実施する理由 (Q5)

国際医療交流実施予定 11 施設が国際医療交流を実施する理由は「収入を上げ自院の経営を安定させるため」(36.4%)と「地域の活性化に貢献するため」(36.4%)が多かった。

⑤ 2012 年度に実施する予定の国際交流の内容 (Q6)

国際医療交流実施予定 11 施設のうち 10 施設が 2012 年度に外来で国際医療交流を実施する内容(対象国、患者数(1名以上)、医療内容のいずれかを所定欄に記入)を回答した。

このうち 9 施設が一日ドックを、7 施設が二日ドックを実施する予定と回答した。1 施設当り受入れ患者数の中央値は 100 人で、中国を対象国とする施設が多かった。

⑥ 国際医療交流のために政治・行政・民間(医療界、関連業界)などが整備すべき要件 (Q8)

国際医療交流実施予定 11 施設のうち 40%以上の病院が「整備を求める」とした項目(複数回答)は、医療通訳の養成(63.6%)、医療事故発生時の対応体制の整備(63.6%)契約書・同意書・検査内容説明書等の各種文書の多言語対応(63.6%)だった。

⑦ 国際医療交流に関する認証制度への態度 (Q9)

国際医療交流実施予定 11 施設のうち、国際

医療交流に関する医療機関の認証制度が創設された場合に、これを取得する意向を示したのは 6 施設(54.5%)(有効回答した 106 施設の 5.7%)だった。

認証制度へは「質の高い医療を提供する必要条件(である)」などの意見が寄せられた。

D. 考察

外国人患者受入れに資する医療機関の認証制度を整備する上での基礎資料等を得ることを目的として「国際医療交流に関する調査」を実施した。

「外国人患者受入れに資する医療機関の認証制度」は、第三者機関により一定の医療水準にあることが確認されている医療機関を対象とすることとされていたので、調査対象は、評価機構の認定病院と日本人間ドック学会の機能評価認定施設とした。

評価機構も日本人間ドック学会も、日本の病院と人間ドック実施施設をランダムに認定しているわけではないこと、有効回答率が病院向け調査で 27.7%、人間ドック実施施設向け調査で 41.6%だったことから、この結果を日本の病院と人間ドック実施施設に外挿することには慎重でなくてはならない。

この調査の結果から、明らかになった事実について考察する。

①外国人診療実績に関する統計が整備されていない病院が多かった。

2009 年度の外国人患者の診療実績の記入を求めたところ、約半数の病院で外来新患者数、新入院患者数の国別(日本人と外国人)集計欄が空欄であった。「国際医療交流に関する調査」に関する調査対象病院・施設からの問い合わせで、「国籍別の統計はないので、この設問は空欄にしたい」「名前がカタカナの患者を外国人として抽出したが、それでよいか」など、この設問に関するものが多かった。受診者の国籍・出身国を含む業務統計を作成していない病院が多いこ

とがうかがえた。国際医療交流以前に、外国人の受診実態がわかる業務統計を整備する必要がある。

②2009 年度では国際医療交流の実績は施設数、受入人数ともに少なかった。

2009 年度の国際医療交流実績があったのは、病院の 2.9%、人間ドック実施施設の 1.8%と僅少であった。ロシアや韓国の患者を定例的に受け入れている病院もあるが、これらは例外的な存在である。

③病院、人間ドック実施施設の約 1 割が国際医療交流を実施しようとしている。その医療内容は、病院でも外来部門では人間ドックと検診が多く、対象国を中国とする病院、人間ドック施設が多かった。

人間ドック施設だけではなく、病院でも外来での国際医療交流として人間ドック PET 検診を実施しようとしているところが多かった。

国際医療交流に参入する理由は、病院は「収益目的」は少なかったが、人間ドック実施施設では「収益目的」が第 1 位だった。

2012 年度の 1 施設当たりの国際医療交流実施規模（1 施設当たりの患者・受診者数）も、人間ドックを実施する病院は年 50 人（中央値）、人間ドック実施施設は年 100 人（中央値）と、人間ドックを実施しない病院の年 10 人（中央値）に比べて多かった。

「人間ドック」を日本の国際医療交流の看板にするなら、人間ドックの国際競争力を十分に見極める必要がある。

④新たな外国人患者受入れに資する医療機関の認証制度は、国際医療交流実施予定の病院・人間ドック実施施設の約半数だった。

病院や人間ドック実施施設が、この認証を取得することによる利益を実感できる（たとえば、仲介業者との契約や、医療費の支払い、医療内容に関する国際的な信用において有利になる）ような制度設計が必要である。

E. 結論

2012 年度に国際医療交流を実施しようとする病院と人間ドック実施施設は、約 1 割であった。新たな外国人患者受入れに資する医療機関の認証制度を取得する意向を示した病院・人間ドック実施施設は、国際医療交流実施予定施設の約半数であった。

[参考文献]

(なし)

F. 健康危機情報

該当事項無し。

G. 研究発表（2010/4/1～2011/3/31 発表）

1. 論文、報告書、発表抄録等

該当事項無し。

2. 学会発表

該当事項無し。

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

該当事項無し。

2. 実用新案登録

該当事項無し。

3. その他

該当事項無し。

資料 1

国際医療交流（外国人患者の受入れ）に関する調査
病院の集計結果

調査対象：1,471 病院

（対象：財団法人日本医療機能評価機構の認定病院のうち、機構の認定病院データベースに「一般（G1～G4）」として登録されていた 1,495 病院（2010 年 9 月）からハンセン病院療養所などの 24 施設を除いた 1,471 施設）

調査時期：2010 年 10 月

調査方法：自記式調査（調査票は宅配便で送付、料金別納郵便で回収）

有効回答＝408 病院（回収率 27.7%）

基本情報

| | 記入欄（N=408） | |
|----------------------------------|---|-------------------|
| 病院所在地 | 北海道・東北 | 55 病院（13.5%） |
| | 関東 | 72 病院（17.6%） |
| | 中部 | 81 病院（19.9%） |
| | 近畿 | 76 病院（18.6%） |
| | 中国・四国 | 49 病院（12.0%） |
| | 九州・沖縄 | 75 病院（18.4%） |
| 病床数 （医療法上の区分 と許可病床数） | 許可病床数 | （中央値）301 床（N=408） |
| | うち 一般病床 | （中央値）295 床（N=408） |
| | 審査体制区分 | |
| | 区分 1（100 床未満） | 70 病院（17.2%） |
| | 区分 2（100～199 床） | 81 病院（19.9%） |
| 病院の特徴 （あてはまるもの 1 つをチェック） | <input type="checkbox"/> （単科）専門病院 | 33 病院（8.1%） |
| | <input type="checkbox"/> 一般病院（急性期型） | 347 病院（85.0%） |
| | <input type="checkbox"/> その他（うち 12 が大学病院） | 25 病院（6.1%） |
| | <input type="checkbox"/> 未記入 | 3 病院（0.7%） |
| 受けている認定 （あてはまるもの すべてをチェック） | <input type="checkbox"/> 財団法人日本医療機能評価機構 | 408 病院（100%） |
| | <input type="checkbox"/> ISO9001 | 24 病院（5.9%） |
| | <input type="checkbox"/> 日本人間ドック学会 | 57 病院（14.0%） |
| | <input type="checkbox"/> Joint Commission International | 0 病院（0%） |
| | <input type="checkbox"/> プライバシーマーク | 9 病院（2.2%） |

問1 平成21年度の貴施設受診者について、国別人数、医療内容などを、外来と入院に分けて記入してください。

| 外来 (N=408) | |
|---|----------------------------------|
| (外来) 平成21年度*1 診療実績 | |
| 外来「新患」総数 | (中央値) 11035人 (N=341) |
| 内訳 | |
| 日本人 | (中央値) 6763人 (N=201) |
| 外国人A*2 | (中央値) 14人 (N=202) |
| 外国人割合(A) | (中央値) 0.3% (N=200) |
| 外国人Aの国別内訳(上位3カ国) | |
| 国名1 | 中国 (50病院/96病院) |
| 国名2 | 韓国 (19病院/77病院) |
| 国名3 | フィリピン (9病院/57病院) |
| (外来) 外国人Aのうち「国際医療交流(外国人患者受け入れ)」該当者(外国人C) | |
| 外来で国際医療交流を実施 7病院(1.7%) | |
| 外国人C*3 | (中央値) 13人(N=7)(7病院の外国人患者C合計82人) |
| 外国人Cの国別内訳(上位3カ国) | |
| 国名1 | 韓国・ロシア(各2病院/7病院)、米・中・独(各1病院/7病院) |
| 国名2 | 米国(2病院/3病院) |
| 国名3 | 台湾(1病院/1病院) |
| (外来) 外国人Cに行った主な外来医療 | |
| (例:消化管内視鏡検査、外来化学療法、人間ドック、PET検診) | |
| 主なものを3つまで記入してください。 | |
| 1. 人間ドック、脳ドック、心臓ドック、消化器ドック | |
| P.4表「(外来)2009(H21)年度に実施した国際医療交流(外国人患者の受け入れ)の事業内容」参照 | |

外国人A：上位3カ国の第1位の国名を記入した96病院のうち50病院が「中国」と記入。

外国人C：上位3カ国の第1位の国名を記入した7病院のうち2病院が「韓国」、2病院が「ロシア」と記入。

- *1 平成21年度：平成21年(2009年)4月1日から平成22年(2010年)3月31日まで
- *2 「外国人A」「外国人B」には、滞在理由や来日目的を問わず、日本に永住する外国人も含めて、すべての外国人数を計上してください。
- *3 「外国人C」「外国人D」には、外国人A、外国人Bのうち「国際医療交流(外国人患者の受け入れ)」(貴施設を受診するために日本に来た患者を対象とする医療や健診)に該当する外国人数を計上してください。

問1 平成21年度の貴施設受診者について、国別人数、医療内容などを、外来と入院に分けて記入してください。

| 入院 (N=408) | |
|---|--|
| (入院) 平成21年度*1 診療実績 | |
| 「新入院」総数 (中央値) 4242人 (N=338) | |
| 内訳 | |
| 日本人 | (中央値) 2561人 (N=204) |
| 外国人 B*2 | (中央値) 2人 (N=205) |
| 外国人割合 (B) | (中央値) 0.1% (N=204) |
| 外国人 B の国別内訳 (上位3カ国まで) | |
| 国名 | 中国 (台湾を含む) (35 病院 / 89 病院) |
| 国名 | 韓国 (11 病院 / 54 病院) |
| 国名 | 米国 (8 病院 / 34 病院) |
| (入院) 外国人 B のうち「国際医療交流(外国人患者受け入れ)」該当者 (外国人 D) | |
| 入院で国際医療交流を実施 9 病院 (2.2%) | |
| 外国人 D*3 (中央値) 3人 (9 病院) (9 病院の外国人患者 D 合計 34 人) | |
| 外国人 D の国別内訳 (上位3カ国) | |
| 国名 | 韓国 (5 病院 / 8 病院)、ロシア・ブラジル・サイパン (各 1 病院 / 8 病院) |
| 国名 | シリア・アメリカ (各 1 病院 / 2 病院) |
| (他は、割愛) | |
| (入院) 外国人 D に行った主な入院医療 | |
| (例：悪性腫瘍の入院治療、PCI、内視鏡による消化管疾患の入院治療) | |
| 主なものを3つまで記入してください。 | |
| 1. <u>心疾患の治療 (PCI、狭心症、心臓外科など)</u> | |
| 次頁の表「(入院) 2009 (H21) 年度に実施した国際医療交流 (外国人患者の受け入れ) の事業内容」を参照 | |

外国人 B: 上位3カ国の第1位の国名を記入した89病院のうち35病院が「中国 (台湾を含む)」と記入。

外国人 D: 上位3カ国の第1位の国名を記入した8病院のうち5病院が「韓国」と記入。

(外来) 2009 (H21) 年度に実施した国際医療交流 (外国人患者の受入れ) の事業内容

| 病院 ID | 外来患者数 C | 国別患者数 (カッコ内は患者数) | 医療内容 |
|-------|---------|---------------------|---------------------------------|
| 2003 | 24 | ロシア(24) | 脳ドック、心臓ドック、消化器ドック |
| 0181 | 21 | 韓国(17)、米国(4) | 在外被爆者渡日健診 |
| 0102 | 20 | 中国(10)、韓国(5)、台湾(5) | 内服治療、化学治療 |
| 0393 | 13 | 韓国(12)、アメリカ(1) | 消化管内視鏡、エコー検査、血液検査 |
| 0344 | 2 | ロシア(2) | 人間ドック |
| 0130 | 1 | ドイツ(1) | 透析治療 |
| 0354 | 1 | アメリカ(1) | CT撮影、肺機能検査、血液検査(生化学 I、II、免疫)、処方 |

(入院) 2009 (H21) 年度に実施した国際医療交流 (外国人患者の受入れ) の事業内容

| 病院 ID | 入院患者数 D | 国別患者数 (カッコ内は患者数) | 医療内容 |
|-------|---------|---------------------|---------------------------------|
| 0181 | 12 | 韓国 | 在外被爆者渡日治療 |
| 2003 | 6 | ロシア(6) | 心臓疾患の精査入院、脳動脈瘤の入院治療、下肢大腿動脈の入院治療 |
| 0333 | 5 | . | . |
| 0243 | 3 | 韓国(3) | 靭帯手術、骨折手術 |
| 0393 | 3 | ブラジル(2)、アメリカ(1) | 消化管内視鏡、エコー検査、CT検査 |
| 0102 | 2 | 韓国(1)、シリア(1) | 内服治療、火傷治療、化学治療 |
| 0241 | 1 | 北マリアナ諸島連邦(サイパン) (1) | 心臓外科の入院治療 |
| 0292 | 1 | 韓国(1) | PCI |
| 0374 | 1 | 韓国(1) | 狭心症の入院治療 |

問2 現在、貴施設に「国際医療交流（外国人患者の受入れ）」を実施する余裕はありますか。
 （「余裕」の内容は問いません）

（あてはまるもの1つを選択）

（N=408）

| | |
|--------------------------------|-----------------|
| <input type="checkbox"/> 余裕はない | 324 病院（79.4%） |
| <input type="checkbox"/> 余裕がある | 66 病院（16.2%） |
| ⇒ 受入れ可能な「国際医療交流（外国人患者の受入れ）」患者数 | |
| 外来（新患） | （中央値）5人／月（N=38） |
| 入院（新入院） | （中央値）4人／月（N=37） |
| <input type="checkbox"/> 無回答 | 18 病院（4.4%） |

問3 貴施設は、国際医療交流（外国人患者の受入れ）」を実施する予定がありますか。

（あてはまるもの1つをチェック）（N=408）

| | |
|-------------------------------------|---------------|
| <input type="checkbox"/> 実施する予定はない | 248 病院（60.8%） |
| <input type="checkbox"/> 検討中・未定 | 119 病院（29.2%） |
| <input type="checkbox"/> 実施している* | 26 病院（3.9%） |
| <input type="checkbox"/> 実施する予定である* | 9 病院（2.2%） |
| ⇒開始年度 H22（4病院）、H23（4病院）、H24（1病院） | |
| <input type="checkbox"/> 無回答 | 6 病院（1.5%） |

*受入れ国、受診者数、健診内容などを限定して実施する場合も含まれます。

問3で 実施する予定はない、又は 検討中・未定 と回答した場合（373 病院）

⇒ これで終了です。 ご協力ありがとうございました。

問3で 実施している、又は 実施する予定である と回答した場合（35 病院）

⇒ 問4～問9にも ご回答ください。

問4 以下は、問3で 実施している、又は 実施する予定であると回答した
病院（35 病院）だけが回答。

問4 貴施設が「国際医療交流（外国人患者の受入れ）」を実施（予定を含む）するようになったのはどのような経緯からですか？（あてはまるものすべてにチェック）

（あてはまるものすべてにチェック）（N=35）

| | |
|--|--------------|
| <input type="checkbox"/> 外国人患者本人若しくは家族からの依頼 | 16 病院（45.7%） |
| <input type="checkbox"/> 学術交流のある海外の医療機関や医師からの紹介 | 13 病院（37.1%） |
| <input type="checkbox"/> 国内のアレンジ事業者（斡旋事業者や保険会社、ファシリテーター等）からの紹介 | 10 病院（28.6%） |
| <input type="checkbox"/> 海外のアレンジ事業者（斡旋事業者や保険会社、ファシリテーター等）からの紹介 | 4 病院（11.4%） |
| <input type="checkbox"/> 地域で行っている外国人患者の受け入れに関するモデル事業に参加したため | 3 病院（8.6%） |
| <input type="checkbox"/> その他（10 病院が内容記入） | 10 病院（28.6%） |

「その他」の内容

| | |
|-----------|-------------------------------------|
| 病院 ID0019 | 来院されるから |
| 病院 ID0132 | NPO法人（国際交流協会）からの依頼 |
| 病院 ID0175 | 院長が 30 年間ドイツにて心臓・血管・肺外科の教授として勤務して来た |
| 病院 ID0181 | 長崎・ヒバクシャ医療国際協力会の構成機関である |
| 病院 ID0241 | 乗り継ぎ地の中部国際空港からの緊急搬送 |
| 病院 ID0271 | 隣接する大学（学生交流）寮が設置されたことによる依頼あり |
| 病院 ID0339 | 病院の理念、運営の基本方針に国際化を掲げているため |
| 病院 ID0370 | 中国帰国者定着促進センター所沢からの依頼で協力病院に。 |
| 病院 ID0374 | 在外被爆者の支援事 |
| 病院 ID0378 | 将来の社会変化に整えるため |

（人間ドック実施施設と同じ設問）

問5 貴施設が「国際医療交流(外国人患者の受入れ)」を実施(予定を含む)する理由をお知らせ下さい。

(重要なもの3つまでをチェック) (N=35)

| | |
|---|---------------|
| <input type="checkbox"/> 地域の活性化に貢献するため | 13 病院 (37.1%) |
| <input type="checkbox"/> 特別な理由はない(日常診療の一環として実施しているため) | 12 病院 (34.2%) |
| <input type="checkbox"/> 自院の基本理念として国際化を掲げているため | 11 病院 (31.4%) |
| <input type="checkbox"/> PET や MRI などの医療機器の稼働率を上げるため | 3 病院 (8.6%) |
| <input type="checkbox"/> 収入をあげ、自院の経営を安定させるため | 1 病院 (2.9%) |
| <input type="checkbox"/> その他 (12 病院が内容記入) | 12 病院 (34.3%) |

「その他」の内容

| | |
|-----------|------------------------------------|
| 病院 ID0141 | 徳島健康医療クラスターのプロジェクトとして |
| 病院 ID0181 | 長崎・ヒバクシャ医療国際協力会の構成機関である |
| 病院 ID0241 | 対象国で対応ができない高度な医療の提供 |
| 病院 ID2003 | 国際貢献・職員の意識の向上 |
| 病院 ID0313 | 乳癌に対する非侵襲的治療の普及のため(但し、症例は限られる) |
| 病院 ID0345 | 生活困窮者支援事業の一つとして国際交流を掲げている |
| 病院 ID0346 | 外国人のための病院としての起源があり、神戸在住の外国人に馴染みが深い |
| 病院 ID0370 | 医療に差別はないので。 |
| 病院 ID0374 | 広島県(行政)からの依頼による |
| 病院 ID0375 | 地域性 |
| 病院 ID0378 | 将来の社会変化に整えるため |
| 病院 ID0385 | 海外交流のある医師のモチベーション増強のため |

(人間ドック実施施設と同じ設問)

問6 貴施設が実施する「国際医療交流（外国人患者の受入れ）」の平成24年度における規模と内容を、外来と入院に分けて記入してください。（平成24年度は、平成22年6月18日閣議決定「新成長戦略」における「国際医療交流（外国人患者の受入れ）」本格受入れ開始年度です。）

| 問6 (外来) | 総数 | 主に人間ドックを実施する病院 | 左記以外で患者数、対象国、医療内容のいずれかを記入した病院 | 患者数、対象国、医療内容とも記載のない病院 |
|--|-----------------------|---|-------------------------------|-----------------------|
| (外来)実施予定病院数 | 35 病院 | 17 病院 | 9 病院 | 9 病院 |
| (外来)「国際医療交流(外国人患者受入れ)」該当外来新患(平成24年度見込) | 中央値 40 人 (N=20) | 中央値 50 人 (N=15) | 中央値 10 人 (N=5) | |
| (外来)主な対象国 | 中国 ロシア 韓国 | 中国(12 病院) ロシア(4 病院) 韓国(3 病院) | 中国、ベトナム、モンゴル、スーダン、米国(各1 病院) | |
| (外来)「国際医療交流(外国人患者受入れ)」で実施する主な外来医療(H24年度予定) | | 人間ドック(10 病院) PET 検診(6 病院) 脳ドック(2 病院) 心臓ドック(2 病院) | 次頁の表を参照 | |

(外来) 2012 (H24) 年度の国際医療交流 (外国人患者の受入れ) 実施予定

| | 病院 ID | 外来受入数 | 外来対象国 | 外来医療内容 |
|-------------------------------|-------|--------|--------------------|--------------------------------|
| 主に人間ドック・健診・PET 検診などを実施する予定の病院 | 0384 | 240 | 中国、ロシア | PET 検診、脳ドック、人間ドック |
| | 0174 | 200 | 中国、韓国、ロシア | PET 検診、人間ドック |
| | 0128 | 120 | 中国 | 人間ドック |
| | 0055 | 100 | 中国 | PET/CT 総合がん検診 |
| | 0132 | 100 | ロシア | 人間ドック (健康診断) . |
| | 0152 | 100 | 中国、韓国、台湾 | 乳腺ドック (マンモ、エコー)、 消化管内視鏡検査 |
| | 0370 | 100 | 中国 | 健診 |
| | 0141 | 50 | 中国 | 人間ドック、PET 検診 |
| | 0267 | 50 | 中国、アメリカ | PET 検診、人間ドック |
| | 2003 | 50 | ロシア | 脳ドック、心臓ドック、消化器ドック |
| | 0175 | 30 | ドイツ、アメリカ、中国 /台湾 | 心臓血管ドック、人間ドック 消化管内視鏡検査 |
| | 0157 | 20 | 中国、ベトナム、インド | 骨壊死検診、高圧酸素治療、骨髄炎 |
| | 0181 | 20 | 韓国 | 在外被爆者渡日健診 |
| | 0378 | 20 | 中国、北米、中東 | PET 検診、悪性腫瘍の治療、リハビリ テーション治療 |
| | 0213 | 5 | 中国、ベトナム、ロシア | 人間ドック |
| 0295 | . | . | 人間ドック | |
| 0385 | . | . | 人間ドック、冠動脈 CT、超音波検査 | |
| 上記以外の病院 | 0339 | 13,428 | . | . |
| | 0102 | 20 | . | 可能なだけすべてやります |
| | 0020 | 10 | 中国、ベトナム | 眼疾患 |
| | 0130 | 5 | . | 透析治療 |
| | 0345 | 5 | モンゴル、スーダン | . |
| | 0375 | . | 米国 | . |
| | 0234 | . | 英語が話せる人 | 消化管内視鏡検査、気管支鏡、化学療法 |
| | 0163 | . | . | 一般外来、救急外来. |
| | 0313 | . | . | 悪性腫瘍の外来治療 |

9 病院 (病院 ID 0019、0088、0241、0262、0271、0303、0346、0374、0388) は、
受入れ患者数、対象国、医療内容とも未記入。

問6 貴施設が実施する「国際医療交流（外国人患者の受入れ）」の平成24年度における規模と内容を、外来と入院に分けて記入してください。（平成24年度は、平成22年6月18日閣議決定「新成長戦略」における「国際医療交流（外国人患者の受入れ）」本格受入れ開始年度です。）

| 問6 (入院) | 総数 | 患者数、対象国、医療内容の いずれかを記入した病院 | 入院医療 は実施し ない病院 | 患者数、対象国、 医療内容とも記 載のない病院 |
|---|-----------------------|--|----------------------|-------------------------------|
| (入院) 実施予定病院数 | 35 病院 | 19 病院 | 2 病院 | 14 病院 |
| (入院)「国際医療交流(外国人患者受入れ)」該当入院新患（平成24年度見込） | 中央値 10 人 (N=16) | 中央値 10 人 (N=14) | 中央値 0 人 (N=2) | |
| (入院) 主な対象国 | 右記 | 中国（8 病院） ロシア（3 病院） 韓国、ベトナム、アメリカ、台湾 （各 2 病院） | | |
| (入院)「国際医療交流(外国人患者受入れ)」で実施する 主な入院医療（H24 年度予 定） | 右記 | 悪性腫瘍の治療（4 病院） 内視鏡による消化管等の検査・治 療・手術（4 病院） 心疾患の治療（PCI、手術）（5 病 院） 脳外科手術、脳血管治療など（3 病院） | | |

(入院) 2012 (H24) 年度の国際医療交流 (外国人患者の受入れ) 実施予定

| 病院 ID | 入院受入数 | 入院対象国 | 入院医療内容 |
|-------|-------|----------------|---|
| 0339 | 340 | . | . |
| 0384 | 120 | 中国、ロシア | 悪性腫瘍の入院治療、IMRT (トモ・セラピーを用いた放射線治療)、脳・心の血管内手術 |
| 0152 | 50 | 中国、韓国、台湾 | 下肢静脈瘤の手術、内視鏡による消化管疾患の入院治療、ヘルニア・胆石の腹腔鏡手術 |
| 0213 | 36 | 中国、ロシア | 内視鏡下手術 |
| 0175 | 20 | ドイツ、アメリカ、中国/台湾 | 心臓・血管 PCI、心臓・血管外科手術、肺外科 |
| 2003 | 20 | ロシア | 脳疾患による入院治療、心疾患による入院治療、内視鏡による消化管疾患の入院治療 |
| 0020 | 10 | 中国、ベトナム | 眼疾患 |
| 0130 | 10 | 中国 | 脳腫瘍のガンマナイフ治療、体幹部の放射線治療 |
| 0157 | 10 | 中国、ベトナム、インド | 骨壊死手術、骨髄炎・高圧酸素治療、人工関節 |
| 0181 | 10 | 韓国 | 在外被爆者渡日治療 |
| 0378 | 10 | 中国、北米、中東 | 悪性腫瘍の治療、心疾患の治療、リハビリテーション治療 |
| 0102 | 5 | . | 可能なものはすべてやります |
| 0345 | 2 | モンゴル、スーダン | . |
| 0370 | 2 | . | . |
| 0234 | . | 英語が話せる人 | 手術 (消化器・呼吸器・整形外科)、内視鏡、CT・MRI 他 |
| 0375 | . | 米国 | . |
| 0163 | . | . | 一般入院診療、救急入院診療 |
| 0313 | . | . | 悪性腫瘍の入院治療 |
| 0385 | . | . | PCI |
| 0128 | 0 | . | . |
| 0174 | 0 | . | . |

14 病院 (病院 ID 0019、0055、0088、0132、0141、0241、0262、0267、0271、0295、0303、0346、0374、0388) は、患者数、対象国、医療内容ともに未記入。

問7「国際医療交流（外国人患者の受入れ）」を実施するうえで、今後、貴施設が整備すべき要件を挙げてください。

（あてはまるものすべてに チェック）（N=35）

| | |
|--|--------------|
| <input type="checkbox"/> 医療内容と料金算定方法を事前に提示する（医療の範囲、リスク、限界、料金算定の基準などを書面で提示する） | 26 病院（74.2%） |
| <input type="checkbox"/> 説明は書面のみでなく、対面で行う（通訳を介してでも直接本人に結果と今後の方針を伝えること） | 22 病院（62.9%） |
| <input type="checkbox"/> 必要があれば日本、母国の医療機関への情報提供を円満に行う（紹介状の作成や画像の提供） | 21 病院（60.0%） |
| <input type="checkbox"/> 外国人の著しい特別扱いによる日本人への影響の配慮（特別な待遇により日本人の受診を妨げない配慮） | 16 病院（45.7%） |
| <input type="checkbox"/> 苦情対応（責任者の明確化と十分な対応） | 13 病院（37.1%） |
| <input type="checkbox"/> 個人情報に配慮した情報提供を行う（通訳や仲介会社への個人情報提供に配慮、プライバシーマークの取得） | 12 病院（34.2%） |
| <input type="checkbox"/> 国際医療交流（外国人患者の受入れ）で得た利益を日本の医療に還元する | 4 病院（11.4%） |

（人間ドック実施施設への設問とは一部異なる）

問 8 「国際医療協力（外国人患者受入れ）」を実施するうえで、今後、政治、行政、民間（医療界、関連業界など）が整備すべき要件をあげてください。（人間ドック実施施設と同じ設問）

（重要なもの 3つまでをチェック）

（N=35）

| | |
|--|--------------|
| <input type="checkbox"/> 医療通訳の養成 | 23 病院（65.7%） |
| <input type="checkbox"/> 医療事故等発生時の対応体制の整備 | 17 病院（48.6%） |
| <input type="checkbox"/> 契約書、同意書、検査内容説明書等の各種文書の多言語対応 | 14 病院（40.0%） |
| <input type="checkbox"/> 医療滞在ビザ（医療ビザ） | 13 病院（37.1%） |
| <input type="checkbox"/> アフターフォローに向けた現地医療機関との連携体制 | 13 病院（37.1%） |
| <input type="checkbox"/> 外国人医師・看護師による日本国内での診療の規制緩和 | 10 病院（28.6%） |
| <input type="checkbox"/> アレンジ業者との連携 | 6 病院（17.1%） |
| <input type="checkbox"/> 海外での日本の医療・健診のプロモーション | 5 病院（14.3%） |
| <input type="checkbox"/> 海外保険会社とタイアップした集客モデルの構築 | 2 病院（5.7%） |
| <input type="checkbox"/> その他 | 3 病院（8.6%） |

（その他の内容）

病院 ID0241 高額医療費の請求及び回収手続

病院 ID0271 外国人受診者に日本の医療システム・仕組み等を理解し、説明できる第三者機関またトラブル発生時に医療側、受診者側両面から相談できる機能を持つ第三者機関の設置が早急に望まれます。

病院 ID0375 未収金対策

問 9 仮に「国際医療交流（外国人患者受入れ）」に関する医療機関の認証制度ができた場合、貴施設は認証を取得しますか。

（あてはまるもの1つをチェック）

（N=35）

| | |
|--------------------------------|--------------|
| <input type="checkbox"/> 取得する | 14 病院（40.0%） |
| <input type="checkbox"/> 取得しない | 2 病院（5.7%） |
| <input type="checkbox"/> わからない | 18 病院（51.4%） |
| <input type="checkbox"/> 無回答 | 1 病院（2.9%） |

（認証制度創設に関する意見・要望）（5 病院）

病院 ID0102 受け入れの強制とならない様に（取得する）

病院 ID0271 加算等対応が相当と考えます（取得する）

病院 ID0339 日本国内外の外国人に病院の施設の情報や医療の質に係る情報を公開することの助けになればと思います。（取得する）

病院 ID0370 制度の内容による（わからない）

病院 ID0378 その内容や影響を検討して判断する。（わからない）

「国際医療交流（外国人患者の受入れ）に関する調査」
人間ドック実施施設の集計結果

調査対象施設数=255 施設 （2010年9月27日に日本人間ドック学会のホームページで確認した日本
人間ドック学会機能評価認定施設のうち、日本国内にある 255 施設）

調査時期：2010年10月

調査方法：自記式調査（調査票はメール便で送付、料金別納郵便で回収）

有効回答=106 施設（回答率 41.6%）

基本情報

| | 記入欄（N=106） | |
|--------------------------------------|---|--------------|
| 人間ドック 実施施設 所在地 | 北海道・東北 | 11 施設（10.4%） |
| | 関東 | 34 施設（32.0%） |
| | 中部 | 23 施設（21.7%） |
| | 近畿 | 19 施設（17.9%） |
| | 中国・四国 | 15 施設（14.2%） |
| | 九州・沖縄 | 4 施設（3.8%） |
| 医療法上の分類 （あてはまるもの 1つをチェック） | <input type="checkbox"/> 病院 | 54 施設（50.9%） |
| | <input type="checkbox"/> 診療所（有床） | 9 施設（8.5%） |
| | <input type="checkbox"/> 診療所（無床） | 43 施設（40.6%） |
| 受けている認定 （あてはまるもの すべてを チェック） | <input type="checkbox"/> 財団法人 日本医療機能評価機構 | 47 施設（44.3%） |
| | <input type="checkbox"/> ISO9001 | 11 施設（10.4%） |
| | <input type="checkbox"/> 日本人間ドック学会 | 106 施設（100%） |
| | <input type="checkbox"/> Joint Commission International | 0 施設（0%） |
| | <input type="checkbox"/> プライバシーマーク | 11 施設（10.4%） |
| 人間ドック健診の形 式（あてはまるもの すべてをチェック） | <input type="checkbox"/> 一日ドック | 106 施設（100%） |
| | <input type="checkbox"/> 二日ドック | 74 施設（69.8%） |

問 1 平成 21 年度の貴施設受診者について、国別人数と国名、実施した人間ドックの内容を記入してください。

| | |
|--|------------------------|
| 問 1 (人間ドック) (N=106) | |
| (人間ドック) 平成 21 年度*1 実績 | |
| 総数 | (中央値) 5454 人 (N=102) |
| 内訳 | |
| 日本人 | (中央値) 5229 人 (N=88) |
| 外国人 E*2 | (中央値) 4 人 (N=88) |
| 外国人受診者の割合 | (中央値) 0.1% (N=88) |
| 外国人 E の国別内訳 (上位 3 カ国) | |
| 国名 1 | 中国 (15 施設 / 34 施設) |
| 国名 2 | 韓国 (6 施設 / 24 施設) |
| 国名 3 | 韓国・米国 (各 3 施設 / 18 施設) |
| (人間ドック) 外国人 E のうち「国際医療交流(外国人患者受入れ)」該当者 (外国人 F) | |
| 国際医療交流実施 2 施設 (1.8%) (次頁表参照) | |
| 外国人 F*3 | (中央値) 3.5 人 (N=2) |
| (受け入れ国別の人数) (施設別) | |
| 施設 ID 9023 | : ロシア 5 人 |
| 施設 ID 9094 | : カンボジア、オランダ 各 1 人 |
| (人間ドック) 外国人 F に実施した健診の内容 | |
| (あてはまるものすべてにチェック) | |
| <input type="checkbox"/> 一日ドック | 2 施設 (100%) |
| <input type="checkbox"/> 二日ドック | 1 施設 (50%) |
| <input type="checkbox"/> その他 | 0 施設 (0%) |

外国人 E : 上位 3 カ国の第 1 位の国名を記入した 34 施設のうち 15 施設が「中国」と記入。

*1 平成 21 年度 : 平成 21 年 (2009 年) 4 月 1 日から平成 22 年 (2010 年) 3 月 31 日まで

*2 「外国人 E」には、滞在理由や来日目的を問わず、日本に永住する外国人も含めて、すべての外国人数を計上してください。

*3 「外国人 F」には、外国人 E のうち「国際医療交流 (外国人患者の受入れ)」(貴施設を受診するために日本に来た患者を対象とする医療や健診) に該当する外国人数を計上してください。

(人間ドック) 2009 (H21) 年度に実施した国際医療交流 (外国人患者の受入れ) の内容

| 人間ドック ID | 受診者数 F | 国 名 | 実施した人間ドック |
|----------|--------|------------------|-------------|
| 9094 | 5 | ロシア(5) | 一日ドック |
| 9023 | 2 | カンボジア(1)、オランダ(1) | 一日ドック、二日ドック |

問2 現在、貴施設に「国際医療交流 (外国人患者の受入れ)」を実施する余裕はありますか。

(「余裕」の内容は問いません)

(あてはまるもの1つを選択)

(N=106)

余裕はない 76 施設 (74.5%)

余裕がある 30 施設 (29.4%)

⇒ 受入れ可能な「国際医療交流 (外国人患者の受入れ)」受診者数

一日ドック (中央値) 10 人/月 (N=23)

二日ドック (中央値) 7 人/月 (N=12)

その他 (中央値) 5 人/月 (N=5)

問3 貴施設は、国際医療交流 (外国人患者の受入れ)」を実施する予定がありますか。

(あてはまるもの1つをチェック)

(N=106)

実施する予定はない 51 施設 (50.0%)

検討中・未定 44 施設 (43.1%)

実施している* 4 施設 (3.9%)

実施する予定である* 7 施設 (6.9%)

⇒開始年度 H23 (3 施設)、H24 (2 施設)、H27 (1 施設)、未記入 (1 施設)

*受入れ国、受診者数、健診内容などを限定して実施する場合も含まれます。

問3で 実施する予定はない、又は 検討中・未定 と回答した場合 (95 施設)

⇒ これで終了です。 ご協力ありがとうございました。

問3で 実施している、又は 実施する予定である と回答した場合 (11 施設)

⇒ 問4～問9にも ご回答ください。

問4以下は、問3で 実施している、又は 実施する予定である と回答した
 人間ドック実施施設（11施設）だけが回答。

問4 貴施設が「国際医療交流（外国人患者の受入れ）」を実施（予定を含む）するようになったのはどのような経緯からですか？

| (あてはまるものすべてにチェック) | (N=11) |
|---|-------------|
| <input type="checkbox"/> 外国人患者本人若しくは家族からの依頼 | 4施設 (36.4%) |
| <input type="checkbox"/> 国内のアレンジ事業者(斡旋事業者や保険会社、ファシリテーター等)からの紹介 | 4施設 (36.4%) |
| <input type="checkbox"/> 学術交流のある海外の医療機関や医師からの紹介 | 2施設 (18.2%) |
| <input type="checkbox"/> 地域で行っている外国人患者の受入れに関するモデル事業に参加したため | 1施設 (9.1%) |
| <input type="checkbox"/> 海外のアレンジ事業者(斡旋事業者や保険会社、ファシリテーター等)からの紹介 | 0施設 (0%) |
| <input type="checkbox"/> その他 (5施設が内容記入) | 6施設 (54.5) |
| 「その他」の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・友人関係 (施設 ID 9044) ・今後、外国人からのニーズが増えてくると思われるため (施設 ID 9050) ・現在のところ、地域的に対象者がいない (施設 ID 9052) ・人間ドックの国際化 (施設 ID 8002) ・平成21年度経済産業省のメディカルツーリズム事業への参加 (施設 ID 9101) | |
| (病院と同じ設問) | |

問5 貴施設が「国際医療交流(外国人患者の受入れ)」を実施(予定を含む)する理由をお知らせ下さい。

(重要なもの3つまでをチェック) (N=11)

| | |
|---|--------------|
| <input type="checkbox"/> 収入をあげ、自院の経営を安定させるため | 4 施設 (36.4%) |
| <input type="checkbox"/> 地域の活性化に貢献するため | 4 施設 (36.4%) |
| <input type="checkbox"/> 自院の基本理念として国際化を掲げているため | 3 施設 (27.3%) |
| <input type="checkbox"/> 特別な理由はない(日常診療の一環として実施しているため) | 3 施設 (27.3%) |
| <input type="checkbox"/> PET や MRI などの医療機器の稼働率を上げるため | 1 施設 (9.1%) |
| <input type="checkbox"/> その他 (3 施設が記入) | 3 施設 (27.3%) |

「その他」の内容

- ・横浜みなとみらい地区の立地(施設 ID 9044)
- ・地域一番の継続のため(施設 ID 9095)
- ・人間ドックの国際化(施設 ID 8002)

(病院と同じ設問)